

あたみ 市議会だより

第64号

令和7年
(2025)
11月10日

P 2～7	令和7年9月定例会 質疑および一般質問（要旨）
P 8	令和7年9月定例会 議決結果
P 9	賛否が分かれた議案・討論
P 10	委員長報告
P 10～12	議会からの報告お知らせ 令和7年11月定例会の主な日程

表紙写真：糸川のカワセミ



令和7年9月定例会について

9月定例会は、9月3日から9月26日まで24日間の会期で開催し、議案11件、認定8件、報告2件、同意3件、諮問1件、発議案2件について審議し原案のとおり可決等されました。

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

E-mail gikai@city.atami.lg.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。



熱海市議会HP



たかい かずゆき
高井一幸 議員

日本共産党
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■学校給食費無償化■生活保護費減額を取り消した最高裁判決への対応

9月定例会質疑・
一般質問の模様は
こちらから



反核平和行進に寄せた市長メッセージの心を問う
JR伊東線熱海管内駅舎にエレベーター設置について

【質問】 被爆80年を迎えた今年の終戦記念日

8月15日正午、「非核平和宣言都市」本市は1分間のサイレンを鳴らし戦没者の御霊に哀悼を示し、続いている

平和に祝意を表した。毎年、本市から始まり県内を浜松まで進む静岡県反核平和行進に市長はメッセージを寄せている。その心は。

【質問】 未来を担う世代に平和な社会を引き継ぐためには意識と行動が欠かせない。平和行進が多くの人々の心を結び、核兵器のない

世界の実現に向けた力となることを願いメッセージを送ったものである。

【質問】 高齢者や身体障がい者を思うとき、JR伊東線の来宮駅、伊豆多賀駅にエレベーターの設置は必要と考える。JRとの交渉の進捗は。

【質問】 高年齢者や身体障がい者を思うとき、JR伊東線の来宮駅、伊豆多賀駅にエレベーターの設置は必要と考える。JRとの交渉の進捗は。

【質問】 これまでも何度かJRと協議をしてきた経緯はあるが、1日当りの平均的な利用客数の基準を満たしていないこと等により事業化には至っていない。

【質問】 来宮駅、伊豆多賀駅、網代駅の乗降客数は公表しないとのことだが、これは街づくりの重要な資料となる。JRには公表を求めべきだが。

【質問】 引き続き、JRに資料を提供していただけるようお願いする。

【意見】 鉄道駅舎のバリアフリー化・エレベーター設置は高齢化が進む市民と観光客には必要不可欠である。JRとの交渉はしっかりと進めていただきたい。

市営住宅の入居について
伊豆山稲村地区の災害復旧工事の進捗状況について



かなもり かずみち
金森和道 議員

明日の熱海
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■町内会の運営■屋内運動場への空調設備設置工事

9月定例会質疑・
一般質問の模様は
こちらから



【質問】 市民から市営住宅への申込みができなかったという声を聞いた。入居を希望しても難しい状況にあることは認識しているが、そのような方々に対して、今後市はどのように対応していくのか。

【質問】 今後市営住宅の集約を行うにあたり、空き室は移転用として確保する必要があることから、新規募集がかげにくい現状がある。入居を希望される方には、市内の県営住宅を案内するとともに、移転用向きでないファミリー向けの部屋が空いた場合には、一般に募集を行うよう対応していく。

【質問】 復旧工事の完成は、本年11月28日を予定しており、工事の進捗率は本年8月末時点で全体事業量の約70%が施工済みと伺っている。危険箇所の事前調査については、日々の道路パトロールによる日常点検に加え、道路法面の詳細点検を毎年実施し、変状等が確認された場合には防災対策を実施していくと県熱海土木事務所から伺っている。

質 疑 一 般 質 問



やま だ かげあき
山田景照 議員

新政熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■湯河原町との公共施設の相互利用 ■市総合計画の進捗・管理体制

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



ごみ処理費削減時の市民への還元について 避難所である各学校の児童生徒向け備蓄品について

質問 令和8年4月からごみ収集方法が変わる。雑紙の資源化等で処理費用が削減されるとのことだが、削減された費用に見合う市民への還元を求める。市の考えは。

答弁 ごみ削減量を測定することは可能である。還元に関しては先行する他市町の事例を研究していく。

意見 削減された費用の使いみちを研究する必要がある。高齢者の外出支援や学校給食の無償化など粗上に乗るだろう。本件は、

市民目線では単に不便になる話。「効果が得れば、市民生活にお返しするので、ごみ分別をお願いしたい。」と言ったのが筋ではないか。市民の努力に報いるべき。

質問 今回の補正予算で避難所指定されている熱海中学校の体育館に空調を整備予定である。各学校が避難所指定されているが、児童生徒向けの備蓄品は学校ごとに整備されているか。市の統一基準や学校への指導はしているか。

答弁 一般的な備蓄であり、児童生徒向けの特別な用意はない。
要望 いざという時の避難所生活で、小学一年生と大人を同様に扱えるのかは疑問。また、同じ熱海市下の学校で、準備に大きな差があるのは好ましくない。危機管理課と学校教育課が連携して、学校関係者や保護者らに啓発してほしい。



いなむら ちひろ
稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■今後10年以内に本市はどのような公共施設整備が必要か

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



子どものいる世帯や高齢者への支援策について 県水から独立し自己水源方式採用について

質問 子育て世帯に対する支援を要望させていただき、市の単独事業として0〜2歳児保育料の無償化、在宅育児応援金など拡充された。ただ、経済的に不安定な子育て世帯に対する支援は十分ではない。支援策を検討し実施していただきたい。

答弁 現状の把握に努め、その結果に応じて所要の支援策を検討したい。

質問 高齢者の外出支援は、東京や川崎、横浜などではバスの割引などが行われている。他市町と比較して熱海の高齢者支援策は何かか。

答弁 伊豆市では80歳以上の方を対象にバス等の利用料金の助成を実施している。熱海も何らかの支援策が必要と考える。

質問 熱海は静岡県から水道水（柿田川湧水）を購入している。令和2年度は水道料金収入の約45%を受水費として県へ支払い、県水購入が水道事業会計の大変厳しい財政状況の要因となっている。当時の担当部長は熱海が自己水源の開発整備を行えば、年間1億5千万円程費用を圧縮できると説明された。熱海は50年先を見越して県水から独立し、自己水源方式を進めるべきである。県水に頼らないで自己水源だけで熱海の水を賄えるようになるのは、何年先になるか。

答弁 整備完了時期は令和29年度末を見込んでおり、30年度から自己水源のみで賄うことを想定している。



むろふしゅうぞう

室伏友三 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会

(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 姫の沢公園ビクターセンタ
ー改善への取組9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらからインバウンド誘客と※オーバーツーリズム対策について
観光戦略会議で共有された内容について

【質問】 地域住民やインバウンド客、トレッキング・ハイキング客が使う市道・農道の整備計画について伺う。

【答弁】 これらは地域住民の生活道路であると同時に、近年はトレッキングやハイキングを目的とした観光客の利用も増加しており、重要な観光基盤であるとして認識している。道路整備は損傷状況や安全性、利用頻度などを総合的に勘案し、限られた予算の中で緊急性・重要性を踏まえながら、

優先順位を付けて進めている。

【質問】 本市の基幹産業は観光であるが、観光施策に対する市民満足度は29・8%と低い。それについてどのように考えているか。

【答弁】 「観光繁忙期の駐車場や渋滞対策」が満足度を押し下げる要因となっており、改善につなげる必要があると認識している。

【要望】 市民満足度を上げるため、基幹産業の観光から生みだされる利益の還元先として

市民税減税や狩猟免許の助成金などを考えていただきたい。また※オーバーツーリズムに対しては、人流の拡散ができる観光環境の早急な整備と、海外からのお客様には日本のルールの厳守を促すサインボードやパンフレットを作成することなどを考えていただきたい。

地域づくりと地域福祉の融合について／
脱炭素社会実現とごみ処理の広域化について

せんみょうじ 泉明寺みずほ 議員

自民党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 観光まちづくり ■ 教育現場
における AI 学習9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから

【質問】 町内世帯数の減少が著しい中、町内会費の収入減も現実的な問題となっている。行政として財源を含めた支援体制について具体的な考えはあるか。

【答弁】 地域集会所設置費等補助金について、補助対象の拡大と補助額算出方法の見直しを進める。

【質問】 ※重層的支援体制整備事業の中の「生活支援体制整備事業」では、日常的な「生活支援」や「介護予防」を地域住民が主体となつて進めていく事を理想としている。地域の力を掘り起こせば地域の困り事を解決する大きな力になると感じるが今後の方策・方向性について考えを伺う。

【答弁】 既存の町内会組織等を主体として事業展開する事は、福祉的観点、まち

づくり、活性化の観点からも相乗して効果を出せることを踏まえ、見直し検討していく。

【質問】 脱炭素社会の実現に向けて、ごみの排出量を30%減らした場合の効果は、また※ミックスペーパーの全市回収を実施した場合のメリットは何か。

【答弁】 約2億1,800万円の経費が減額、二酸化炭素排出量が年1,900トン削減となる。メリットはごみ袋の大きさや出す回数が増え、ごみ袋代の節約等になる。

【要望】 今までの習慣を変える事は大変である。一旦手元が不便になるので丁寧な説明が必要。町内会等とも連携して進めてほしい。

質 疑 一 般 質 問

【質問】 令和7年8月、内閣府において南海トラフ地震の臨時情報に関する防災対応ガイドラインが改定された。今回の改定の主な目的及びその背景について、市の認識を伺う。

【回答】 南海トラフ地震は100～150年周期で発生し、今後30年間の発生確率は80%とされている。昨年8月、日向灘での地震を受けて初めて南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）が発表されたが、全国で対応に差が生じた。このことから、ガイドラインが改定され、周知・広報の留意点など災害対応を充実させるための方策等が示された。市では防災出前講座や地域で行う防災訓練、広報紙、メールマガジン等を通じて市民への周知に努めていく。

【質問】 外国人住民が増加する中でのアクションプラン策定は重要であるが、観光都市として外国人の役割をどう位置づけるのか伺う。

【回答】 基幹産業である観光業は、今後縮小する国内人口を視野に、インバウンド施策が重要視される。外国人労働者の多様性やグローバル化は、これらの施策にも有用であり、人手不足解消と国際観光温泉文化都市としての更なる飛躍にはかかせない存在であると捉えている。このことを踏まえ、アクションプランへの位置づけについても今後議論がなされるものと考えている。

南海トラフ地震ガイドラインの見直しについて 多文化共生アクションプラン策定について



はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■熱海市社会福祉協議会に対する第三者評価導入

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



にいのようへい
新野陽平 議員

明日の熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■市内文化財に関する講演はじめ各種活動■多文化共生の取組

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



商店街が管理する街路灯への対策について／ 子育て支援駐車場無料利用定期券事業の拡大について

【質問】 商店街が管理する街路灯は後継者不足で維持が困難である。どのような対策が考えられるか。

【回答】 維持が困難となった街路灯は町内会が管理する防犯灯や道路管理者による道路照明への移管など仲介に努める。また、改修は従前提供してきた県の補助制度が今年度より適用条件が厳しくなり「活用しづらい」との声もある。今後県に街路灯含め共同施設改修の補助制度改善を引き続き要望する。市としても改修や撤去に関する補助制度を検討する。

【要望】 県の制度利用にあたり担当職員の親身な対応を感謝する市民の声も聞く。今後も市民に寄り添い同じ目線を持ち続けていただきたい。

【質問】 0歳から5歳までの子供の数484人とのことから当事業の対象年齢を現状の3歳から5歳まで拡大しても大きな予算は不要と考える。思う存分外で子供を遊ばせたい親の思いにも応えたいと考えるが、適用拡大を進められるか。

【回答】 経費および事業趣旨である公園利用による子育て支援を踏まえ、対象年齢の拡大に向けて準備を進めていく。

【要望】 対象拡大に向け準備を進める旨感謝申し上げる。申請者である親の負担と職員の事務負担軽減の両面からネットを利用した電子申請ができるよう併せて検討いただきたい。

高齢者の外出支援対策の現況について



たけべ たかし
竹部 隆 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■カムチャツカ半島地震による影響 ■ 宿泊税導入後の観光客の動向

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 高齢者の外出支援対策への現状について、現在進められている状況の説明を求め

る。

【答弁】 平成29年11月に高齢者の行動等の特性の調査を実施した。外出が週2回以内の場合、生活が満足と答えた方、66・2%、週3、4日の場合は72・6%、週5日以上だと74%の結果が出ており、外出交流等の活動量が多ければ生活満足度は高く、少なければ満足度は低いと報告されている。

る。以上のことを踏まえ外出、交流を伴う支援策となるよう施策の組み立てを行っている。

概要については、外出に際しての費用負担の軽減策及び外出機会、外出のきっかけとなる施策の両面で検討を行っている。現在は事業の全体像の整理とITを活用した技術的な仕組みを構築するために関連企業とやり取りを行っているところである。所得制限の有無、支援対象者の絞り込みと利用回数や金額の制

限定など具体的検討を進めている。

【要望】 検討の進捗状況や内容について報告を聞いたが、今回の検討内容ではこれまで行ってきた試行などとは違うことが分かった。今度こそ、多くの高齢者の期待を裏切らないよう迅速に制度設計を行い、遅くとも令和8年度当初には予算化され実施に向けて努力されることを要望する。

基金の運用状況について 防災訓練等について



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(委員長)

広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■ごみ処理広域化 ■ こども誰でも通園制度

9月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 昨年、基金のさらなる運用を提言したがその後の状況は。

【答弁】 令和6年度は環境衛生施設等整備基金10億円を国債購入し、運用額合計は25億円で債券運用収益は1,064万8千円となった。また残りの基金を1年未満の定期預金に預けており、令和7年度には約92億円を預け約4,500万円の収入を見込んでいる。

【質問】 県内の他の自治体例を見ると基金総額の60%以上を運用している事例もあるが運用額を増やせないか。

【答弁】 上限の20%を変更することは可能だが、それぞれの基金の実情に合わせ運用するものと考えている。しかし、収入の増加に有効な部分もあるので引き続き検討していく。

【質問】 避難所での暑さ対策に不満の声があったが、スボットクーラーは全所的に足りているのか。

【答弁】 昨今の気象状況等を踏まえると増設等の検討が必要と考える。

【質問】 酷暑の中での訓練で参加者の数も年々減少傾向だが時期の見直しを検討してみているかがか。

【答弁】 本年度の静岡県総合防災訓練は、熱中症対策などから10月19日に実施する予定であり、今後自主防災会等の意見を聞き検討していく。

【質問】 災害時の停電対策として避難所の必要容量に見合った非常用発電機や、非常用電源車などの手配調達先は確保されているか。

【答弁】 他自治体などの導入事例等を参考に今後対応する。

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

【質問】 今後の予定は、槽分を令和17年度末、相の原受水槽分を令和

県営駿豆水道の受水について 学校体育館のエアコン設置の進め方について



かわぐち たけし 議員
川口 健

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■マイナンバーカードを活用した救急業務 ■熱海観光局の役割

9月定例会質疑・
一般質問の模様は
こちらから



ごとう ゆういち
後藤 雄一 議員

公明熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■リチウムイオン電池に関連する火災 ■難病の方々に対する市の施策

9月定例会質疑・
一般質問の模様は
こちらから



熱海市総合防災訓練について 带状疱疹ワクチンの接種状況について

【質問】 総合防災訓練において、何か新たな取組はあったか。

【答弁】 孤立化対策として、対空通信シートを使用した避難者数などの情報を航空機に伝える訓練を行った。避難生活訓練としては、ワンタッチテントとパーティションの設置、段ボールベットの組み立て訓練を新たにを行った。国土交通省清水港湾事務所と連携し、初島において人員・物品を船舶により輸送する海上輸送訓練については、計画したものの中止となった。

【意見】 自主防災会の防災資材整備などの地域の行う共助に対する市としての支援の継続や避難所の自主運営に関する取組など、着実な防災力の向上を目指すよ

う市も努力していただきたい。

【質問】 任意の带状疱疹ワクチンの令和6年度と今年度8月末までの接種実績は、

【答弁】 令和6年度は生ワクチン、乾燥組換えワクチン合計で439人の申込みがあり、生ワクチンの接種者は97人、組換えワクチンの接種回数は333回で接種率は生ワクチン74・6%、2回接種する必要がある組換えワクチンは53・9%であった。令和7年度8月末までの申請者は、生ワクチン38人、組換えワクチン89人である。実施者については、7月末までで生ワクチン37人、組換えワクチン96回である。

9月定例会 議決結果(本会議)

〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第40号 令和7年度熱海市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員)	認定第3号 決算認定について(令和6年度熱海市介護保険事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第41号 令和7年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第4号 決算認定について(令和6年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第42号 令和7年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第5号 決算認定について(令和6年度熱海市水道事業会計決算)	認定(多数)
議案第43号 令和7年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第6号 決算認定について(令和6年度熱海市下水道事業会計決算)	認定(多数)
議案第44号 令和7年度熱海市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第7号 決算認定について(令和6年度熱海市温泉事業会計決算)	認定(全員)
議案第45号 熱海市初島漁業集落排水処理施設条例等の一部を改正する条例	可決(全員)	認定第8号 決算認定について(令和6年度熱海市初島漁業集落排水事業会計決算)	認定(全員)
議案第46号 熱海市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員)	報告第15号 専決処分の報告について(市有地内樹木のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第47号 未処分利益剰余金の処分について(令和6年度熱海市水道事業会計)	可決(全員)	報告第16号 令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第48号 未処分利益剰余金の処分について(令和6年度熱海市下水道事業会計)	可決(全員)	同意第3号 公平委員会委員の選任について	同意(全員)
議案第49号 未処分利益剰余金の処分について(令和6年度熱海市温泉事業会計)	可決(全員)	同意第4号 公平委員会委員の選任について	同意(全員)
議案第50号 未処分利益剰余金の処分について(令和6年度熱海市初島漁業集落排水事業会計)	可決(全員)	同意第5号 監査委員の選任について	同意(全員)
認定第1号 決算認定について(令和6年度熱海市一般会計決算)	認定(多数)	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
認定第2号 決算認定について(令和6年度熱海市国民健康保険事業特別会計決算)	認定(多数)		

〈議員提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
発議案第1号 感謝状の贈呈について(前正副議長に対する感謝状の贈呈)	可決(全員)	発議案第2号 特別委員会の設置について	可決(全員)

9月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名 議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	稲村 千尋	川口 健	竹部 隆	越村 修	赤尾 光一	杉山 恭平	室伏 友三	後藤 雄一	新野 陽平	金森 和道	田中 秀宝	泉明寺みずほ	橋本 一実	山田 景照	高井 一幸	
	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	公明	明日熱	明日熱	梁山泊	梁山泊	市民ク	新政	共産	
認定第1号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	認
認定第2号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	認
認定第3号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	認
認定第4号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	認
認定第5号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	認
認定第6号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	認

議長（5番 赤尾光一）は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 ○＝原案可決 否＝否決 認定＝原案認定

採決結果 ○＝賛成 ×＝反対 退席＝退 欠＝欠席（早退・遅刻を含む） 除＝除斥

会派名 成風会＝熱海成風会 公明＝公明熱海 明日熱＝明日の熱海

梁山泊＝自民党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク＝熱海市民クラブ 新政＝新政熱海 共産＝日本共産党

討 論

認定第1号決算認定について（令和6年度熱海市一般会計決算）
 認定第2号決算認定について（令和6年度熱海市国民健康保険事業特別会計決算）
 認定第3号決算認定について（令和6年度熱海市介護保険事業特別会計決算）
 認定第4号決算認定について（令和6年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計決算）
 認定第5号決算認定について（令和6年度熱海市水道事業会計決算）
 認定第6号決算認定について（令和6年度熱海市下水道事業会計決算）

反 対 高井一幸 議員

認定第1号について、令和6年度予算案は観光政策偏重で、日々の暮らしに喘ぎ困窮する市民生活へのしっかりした配慮が見当たらないことなどを指摘したが、これらへの対応が充分といえないまま進められた。また認定第5号について、水道料金減免制度創設について施策化はなされず市民の暮らしの疲弊・困窮への対応を欠いた決算認定には賛成できない。他の議案とともに反対する。

●観光建設公営企業委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第40号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 議案第50号	可決 (全会一致)	議案第46号熱海市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例については、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、引用条項を改める必要があることから、本条例について、所要の改正をしようとするものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第40号 議案第41号 議案第42号 議案第43号	可決 (全会一致)	議案第40号令和7年度熱海市一般会計補正予算（第3号）のうち、第2款総務費について自治振興費として、熱海市多文化共生アクションプランを策定するに当たり、市内在住の外国人等にアンケート調査を実施するための委託料及び当該アクションプラン策定懇話会の委員に対する報償費について追加補正がされている。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●決算特別委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
認定第1号 認定第2号 認定第3号 認定第4号 認定第5号 認定第6号	認定 (賛成多数)	適正なものと認める。
認定第7号 認定第8号	認定 (全会一致)	適正なものと認める。

議会からの報告・お知らせ

前正副議長への感謝状の贈呈

令和7年9月定例会本会議1日目（9月3日）において、川口健前議長と、金森和道前副議長に対し、感謝状を贈呈する発議案が可決され、赤尾光一議長より感謝状が贈呈されました。



川口 健 議員（第84代議長）



金森 和道 議員（第85代副議長）

議会傍聴のご案内

●本会議の傍聴について

市役所第3庁舎
玄関（2階）

市役所第3庁舎3階
傍聴受付にお越しください



エレベーターまたは階段で3階へ

市営中央町駐車場からお越しの場合は
福祉事務所を通り抜けエレベーターを
ご利用ください

傍聴受付



傍聴受付票に
住所・氏名をご記入ください
記入後、傍聴証等をお渡しします

令和7年11月定例会から傍聴証が
首に付けるストラップ型になります

途中入場・退場も可能
定員は36人（先着順）

傍聴終了

傍聴が終わったら
傍聴証をご返却ください



市営中央町駐車場をご利用の方は
無料処理をいたしますので
議会事務局にお立ち寄りください

傍聴席へ



傍聴開始

傍聴席では

- 静粛に
 - 携帯電話端末等は電源を切るか、マナーモードに
 - 飲食・喫煙は禁止
- 等の事項をお守りください
詳細は傍聴受付にて配布する注意事項を
ご確認ください

令和7年11月定例会から

- 原則禁止されていた、生徒、児童及び幼児の傍聴が可能となります

- 会議日程は12ページの次回定例会日程やホームページをご覧ください



●各種委員会の傍聴について



各委員会の開催当日に市役所第3庁舎2階議会事務局までお越しください。

- 常任委員会
観光建設公営企業委員会・総務福祉教育委員会
- 議会運営委員会
- 特別委員会
広域行政推進特別委員会・公共施設整備等特別委員会



質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※____で表記されている言葉についての説明です。

P4

ミックスペーパー

ダンボール、新聞紙、雑誌（本）、古布以外の
もので汚れていない紙類のこと。
例：紙箱・菓子箱・牛乳パック・トイレット
ペーパーの芯・封筒・はがき・包装紙など。

P4

重層的支援体制整備事業

既存の相談支援や地域づくりの仕組みを活用し
ながら、複数分野にまたがる生活課題に対応する
包括的な支援体制を構築し、各分野が重なり合い
ながら支援を一体的に実施する事業のこと。

P4

オーバーツーリズム

観光地に多くの旅行者が押し寄せることによっ
て、混雑や騒音、マナー違反などの問題の発生や、
観光客受け入れのための開発に伴う環境破壊や景
観破壊などにより、地域住民の生活や自然環境に
悪影響を与える状態のこと。



次回

熱海市議会
令和7年11月
定例会



主な日程

11月27日(木)	10:00～	本会議（議案上程）
12月10日(水)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
12月11日(木)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
12月12日(金)	10:00～	観光建設公営企業委員会
12月15日(月)	10:00～	総務福祉教育委員会
12月17日(水)	10:00～	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。

次回の市議会だよりは、令和8年2月10日発行予定です。

< 熱海市議会 > 議長：赤尾 光一 副議長：杉山 恭平

< 議会だより編集委員会 > 委員長：橋本 一実 副委員長：杉山 恭平

委員：室伏 友三・新野 陽平・山田 景照